＜学位申請提出書類チェックリスト【メール添付データファイル提出用】＞

氏名		鶴舞　花子	受理審議が実施される大学院教授会　●●月●●日　(13:30～)
可 ☑	否 ☐	指導教員名(原則:教授)	●●　●●
	否の場合	代理出席※の教授名	

※指導教員（原則:教授）が他分野の教授に出席を依頼した場合。

※ 提出漏れがないかチェック（✓）を入れ、**学位申請書類提出のメール送信時に併せてご提出ください。**

※「研究発表会の有効期限切れ」もしくは**「研究テーマの変更による再発表」**該当者は、申請要領のとおり、
学位申請書類の提出前に、**再度、研究発表会**もしくは**公開発表会**にて**予備審査**を実施し、可と判断されたことの確認が必要です。

重要		
	1.【修了予定者のみ】 学位申請書類提出の（大学の実働日で） 10日前までに修了要件確認表	「申請書類を提出する前の事前準備について」をよく読み、 「大学院係に確認しておくこと」として「修了要件確認表」を 学位申請書の提出の（大学の実働日で）10日前までにメール添付で確認依頼をする。10日の間に連絡が無ければ学位申請書類の提出が可能となります。
	2.【修了予定者／満退退学後学位申請者】 学位申請書類提出の前までに	「申請書類を提出する前の事前準備について」の「学位申請者がご自身で確認・依頼等、終えておくこと」の項目について、必ずご確認ください。

チェック欄	提出書類	確認事項
☑	**主論文１部（主著の英文の論文）(PDF)**	最新バージョンで提出してください。 ・Publishされた論文のPDF。 ・著者最終原稿の場合はWord本文と図表や説明文をPDF化したもの。 （可能であれば、本文と図表を1つのPDFにしてください。 難しいようでしたら本文PDFと図表PDFの2つに分かれていても結構です。）
☐	**掲載予定証明書またはアクセプトメール(PDF) （Webや雑誌に論文が未公表の場合のみ）**	PDF化したもの。 既に公表済みの方は不要です。
☑	**同意書 （筆頭著者が複数の場合のみ）** ※「別紙８」7でYesを選択されている方は 不要です。**(Word)**	**※筆頭著者が複数の場合のみ（※別紙8の7．でNoを選択している方のみ）** 学位申請者の氏名が1番最初に書かれていても、提出が必要です。 ・筆頭共著者 ・責任著者 それぞれの押印が必要です。（外国人は押印箇所へのサインで可とする） ただし、同じ「同意書」の用紙への押印（サイン）が困難な著者が居る場合は、別の「同意書」の用紙への押印（サイン）を依頼して、最終的に合わせて全員分を揃えて1つのPDFに。 メール提出の段階では未押印（サイン）Wordファイルで結構です。
☑	**主論文の要旨１部 （生協印刷部で校正を依頼し、レイアウトが整ったPDF） 生協印刷部で作成したことを証明する書類 （生協印刷部にて発行のPDF）**	※校正の依頼前に必ず指導教員に内容を確認していただくようにしてください。 【表紙】 ・学位論文の題目は大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃えてください。 ・専攻、講座、専門分野名はHPの一覧で確認してください。 ・氏名は、戸籍抄本の氏名です。旧字体に注意してください。 ・留学生は自国証明書の氏名にしてください。(大文字・小文字・氏名順) 【本文】 ・FigureとTableを除いて日本語は(MS明朝 10.5ポイント)英数字は(Times New Roman 10.5ポイント)で、2000字～3000字、（38字×38字）A4で2ページ強になります。 ・留学生は英語可(Times New Roman 10.5ポイント)で800～1200wordsです。 ・緒言～結語で順序立てて作成してください。 ・FigureとTableは本文の次のページから始めて、本文を説明するのに必要な分のみ載せるようにしてください。 ・Legendの位置　Figure（下）、Table（上）で作成してください。 ・Referenceは不要です。
☑	**学位申請書 (Word)**	メール提出の段階では、指導教授印(教授または代理教授不在の分野は、准教授または特命教授印)は未押印のもので結構です。
☑	**履歴書５－１ (Excel)**	・氏名は、戸籍抄本の氏名です。旧字体に注意してください。 ・留学生は自国証明書の氏名です。大文字・小文字・氏名順に注意してください。 ・学位論文の題目は大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃えてください。 ・学位論文題目の日本語訳は、主論文の要旨の日本語訳と同題目にしてください。
☑	**履歴書５－２ (Excel)**	
☑	**論文目録 (Word)**	
☑	**履歴表 (Word)**	最新のインパクトファクターの数値を４．　公表の最後に入力してください。
☑	**博士論文のインターネット公表確認書 （別紙６）(Word)**	公表可能時期に条件がある場合は【全文の公表の保留を希望】、 公表不可の場合は【要約の公表を希望】を選択し、事由を記載してください。
☑	**別紙6公表可否に関する裏付資料（メール文またはHPの著作権ポリシーの該当部分） (PDF)**	根拠となる該当部分に、蛍光ペン等でラインを引いた上でPDF化したもの。
☑	**学位論文に関する情報開示(別紙８）(Excel)**	Yes,Noはプルダウン形式になっています。 メール提出の段階では、指導教員(原則、指導教授)の自署・押印は未記入・未押印のもので結構です。

⇒裏面へ⇒

名古屋大学　医学部・医学系研究科　学務課　大学院係

チェック欄	提出書類	確認事項
☑	PubMedのMEDLINE および Web of ScienceのSCIE収載誌 であることの裏付（各1枚）(PDF)	HPの検索方法に従い、指定の画面を印刷の上、該当部分に蛍光ペン等でラインを引いてPDF化したもの。
以下、副論文または参考論文がある場合のみ。副論文、参考論文がない場合には提出不要。		
☐	**副論文1部** **研究内容が主論文と直接関係あるもの** **(PDF)**	最新バージョンで提出してください。 ・Publishされた論文のPDF。 ・著者最終原稿の場合はWord本文と図表や説明文をPDF化したもの。 （可能であれば、本文と図表を1つのPDFにしてください。 難しいようでしたら本文PDFと図表PDFの2つに分かれていても結構です。）
☐	**参考論文1部** **研究内容が主論文と直接関係がないもの** **(PDF)**	最新バージョンで提出してください。 ・Publishされた論文のPDF。 ・著者最終原稿の場合はWord本文と図表や説明文をPDF化したもの。 （可能であれば、本文と図表を1つのPDFにしてください。 難しいようでしたら本文PDFと図表PDFの2つに分かれていても結構です。）
以下、留学生の場合のみ。日本人学生は提出不要。 【★以下の書類については、パスワードを設定の上、ファイル共有サービス（クラウドストレージ等）を利用してご提出ください。】		
☐	**パスポートの写し (PDF)**	PDF化したもの。
☐	**自国で発行された卒業証明書 (PDF)**	PDF化したもの。 学部（※修了・退学等している場合は修士、博士も）

名古屋大学　医学部・医学系研究科　学務課　大学院係

複数の筆頭著者の場合のみ

同　意　書　（兼　誓　約　書）

筆頭共著者用

私は以下の論文の筆頭共著者(equally contributed first author)であり、この論文を筆頭共著者の一人である＿＿＿鶴舞　花子＿＿＿＿＿氏が申請する学位のための主論文として使用することに同意致します。

また、本論文を自らの学位申請の主論文あるいはそれと同等の論文として、これまでに申請していないことを保証し、今後使用しないことを誓います。

論文名：Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population

全著者名：鶴舞　花子、学務　次郎、李　梅花、名古屋　三郎、スミス　ジェームス　シー、名大（愛知）　桜子

掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年月：Gene Therapy　5巻3号　2027年2月掲載予定　8枚

2026　年　9　月　7　日　　筆頭共著者名：　学務　次郎　　印

年　　月　　日　　筆頭共著者名：　　印

年　　月　　日　　筆頭共著者名：　　印

責任著者用

私は上記の論文の責任著者としてこの論文を＿＿＿鶴舞　花子＿＿＿＿氏が申請する学位のための主論文として使用することに同意致します。

2026　年　9　月　7　日　　責任著者名：名大（愛知）　桜子　　印

（責任著者が複数の場合は下に追加してください。）

記入例

主論文の要旨

Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population

※ 英文タイトルの大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える

（日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノーゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連）

※ 全ての書類の日本語訳について、こちらと同題目にしてください

専攻名、講座名、分野名は入学年度のシラバスで確認してください
名古屋大学大学院医学系研究科　総合医学専攻
病態内科学講座　糖尿病・内分泌内科学分野

原則、指導教授
（教授、または代理教授
不在の場合は**准**教授または**特命**教授）
不明な場合はお問い合わせください

（指導：○○　○○ 教授）

鶴舞 花子 ←旧字体に注意（戸籍抄本の氏名）

留学生は自国で発行された卒業証明書のとおり記載のこと

様式及び記入例

※学位申請日（学位申請書類データファイル提出日）
〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

医学系研究科長　殿

２０２３年度入学
専攻名　　総合医学専攻
専門分野名　糖尿病・内分泌内科学
氏名（ふりがな）　鶴舞（つるまい）　花子（はなこ）　印

学　位　申　請　書

名古屋大学学位規程第２条の規定により、関係書類を添え申請いたします。

指導教員 承 認 印	印

受 付 年 月 日 受 付 番 号	年　月　日 第　　号

学位報告5
別紙5－1

※事務記入欄

報告番号	第　　号
学位記番号	第　　号
授与年月日	年　　月　　日

履　歴　書

ふりがな 氏　　名※1 姓と名の間は全角スペース	つるまい＿はなこ 鶴舞＿花子 旧字体に注意（戸籍抄本の氏名） 留学生は自国で発行された卒業証明書のとおり記載すること 全ての書類で同じ表記にすること	外字の有無 ※2	☐ あり ☑ なし
氏　　名 （英字：Block capital）※1、3	姓(Surname)　名(Given name)　(Middle name) 姓は全て大文字　名は最初の1文字のみ大文字 TSURUMAI＿Hanako 姓と名の間は全角スペース		
生年月日 （西暦で記入）	1993 年 4 月 24 日 プルダウン	性別	女 プルダウン
本　籍　地 （外国籍は国籍を記入）	愛知県　プルダウン		
現住所	名古屋市昭和区〇〇町1－2－3　自宅住所		
学位取得**後**の連絡先	【住 所】名古屋市昭和区〇〇町1－2－3　↓セルの書式設定を文字列にしてあるので、先頭の"0"を表示させて下さい 【電 話】052-〇〇〇-△△△　【携 帯】090-〇〇〇-△△△ 【Email】〇〇〇@△△△△.××jp　←ハイパーリンクを解除して下さい		
所属研究科名 （論文博士は論文提出研究科名）	医学系研究科		
所属専攻名 （論文博士は記入不要）	総合医学専攻		
修了（予定）または満期退学年月日 （論文博士は記入不要）	2027 年 3 月 25 日　修了 修了、短縮修了、満期退学をプルダウンより		
学位論文題目	選択 Significant association of urokinase plasminogen activator Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population Alt + Enterで改行 大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える		
学位論文題目翻訳 ※4	日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノーゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連 主論文の要旨の日本語訳と同題目にする		
学位の種類	博士（　　医学　　）		
プログラム名 ※5	該当者はプルダウンから選択		

←枠線が消えないようにして下さい

※1　学位記は本履歴書に記載された氏名表記に基づいて作成します。わかりやすく明確に記入すること。
※2　学位記氏名に外字または旧字体、異体字等が使用されている場合は「あり」、なければ「なし」にチェックをしてください。パソコン上で入力ができない表記を含む場合は所属の教務課へご相談ください。
※3　英字氏名は、姓のみ全て大文字、後は最初の1字が大文字で残りを小文字で書くこと。
※4　論文題目が外国語の場合は、日本語訳を必ず記入すること。論文題目が日本語の場合で、研究科の指示がある場合は、英語訳を記入すること。
※5　リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラム修了（予定）者のみ記入すること。

学位報告5
別紙5－2

報告番号※事務記入欄	第　　号
氏　　名	鶴舞　花子

学歴（大学卒業以降、すべて記入すること）すべて西暦で記入

2018年3月10日	名古屋大学医学部医学科卒業
2018年6月1日	大垣市民病院にて研修開始 学部卒業後の２年間の研修期間
2020年3月31日	同修了
2023年4月1日	名古屋大学大学院医学系研究科博士課程総合医学専攻入学
2027年3月25日	同修了見込

31日卒業の大学は殆どないため卒業証明書などで確認する →

（研究生として在学したことのある方のみ記載）

研究歴	なし　※研究歴が無い場合は、　なし　と入力
2020年4月1日	名古屋大学医学部研究生入学
2021年3月31日	同終了

※研究生入学時の最終学歴が学部卒業の場合は
→名古屋大学医学部研究生入学
研究生入学時の最終学歴が大学院修了の場合は
→名古屋大学大学院医学系研究科大学院研究生入学
となります

今現在までの職歴（常勤のみ）を全て記載する
勤務先の機関名(会社名、病院名など)勤務　とする
部、課、科や役職は不要

※職歴が無い場合は、　なし　と入力
※常勤での勤務期間のみ記入

（名古屋大学医学部附属病院の医員（31h以内/w）は常勤に含む）

職歴	
2020年4月1日	大垣市民病院勤務
2021年3月31日	同退職
2021年4月1日	社会保険中京病院勤務
2025年3月31日	同退職
2025年4月1日	名古屋大学医学部附属病院勤務
	現在に至る

→ ２年間の研修期間の続きから記載

※非常勤等、各履歴に空白期間が生じる場合、その期間が空白期間となる詳細についてメール本文等にて説明すること

39行目→

論　文　目　録

報告番号	※ 甲 第　　号	氏　名	鶴舞　花子

主　論　文

1行空けずに題目を入力→

文頭を「題」の文字に揃える

題　目　大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える　　**冊**

Significant association of urokinase plasminogen activator Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population

主論文の要旨の日本語訳と同題目にする

（日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノーゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連）

Gene Therapy　5巻3号　2027年2月掲載予定　8枚

・投稿原稿の場合、又は最終形が出版であるがWeb掲載段階の場合⇒掲載予定
・最終形がWeb版でWeb掲載されている場合⇒掲載
・既に出版されている場合⇒発行

・投稿原稿の場合は投稿原稿、又は最終形が出版の場合のWeb掲載論文を片面印刷した時の用紙の枚数（図表等を含む）
・Web版が最終形でWeb掲載されている場合、もしくは出版されている場合は枚数の記入は不要

（既に印刷公表したものについては、その方法及び年月日、未公表のものについては、公表の方法及び時期を記入すること）この文章と下記の（　同　　上　）は消さずに残す

副　論　文　研究内容が主論文と直接関係あるもの

題　目　　**冊**

（　　同　　上　　）

参　考　論　文　研究内容が主論文と直接関係がないもの

題　目　　**冊**

Low-dose granulocyte colony-sitmulating factor enables the efficient collection of peripheral blood stem cells after disease-oriented, conventional-dose chemotherapy for breast cancer, malignant lymphoma and germ cell tumor

（低用量の顆粒球コロニー刺激因子は、乳癌、悪性リンパ腫および胚細胞腫瘍に対する疾患志向の通常量の化学療法後の十分量の末梢血幹細胞採取を可能にする）

Bone Marrow Transplantation　15巻1号　2026年3月発行

英文雑誌の場合は西暦で
和文雑誌の場合は元号で記入

（　　同　　上　　）

←枠外に出てしまった場合は、枠内に収まる様に空白行を削除して収める

※様式を崩さず入力する

論文提出者の履歴表（課程）

研究発表会の年月を記入する　数字は全角、1桁の場合は全角スペース

［予備審査２０２６年__６月終了］

※１．～７．の番号と番号の間は２行空ける

「ルビ」でふりがな(サイズは６pt)

１．氏名　　鶴舞(つるまい)__花子(はなこ)__（１９９３年__４月２４日生）

※数字は全角、1桁の場合は全角スペース

２．専攻　　総合医学専攻　入学年度のシラバスで確認する

病態内科学講座__糖尿病・内分泌内科学

３．論文題目および著者名　英文タイトルの大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える

Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population

主論文の要旨の日本語訳と一致させる

（日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノーゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連）

全角ｽﾍﾟｰｽ読点　※漢字氏名がある場合は漢字　※英字氏名の場合はカタカナ

鶴舞__花子、学務__次郎、李__梅花、名古屋__三郎、スミス__ジェームス__シー

名大-愛知__桜子　(ラスト)　(ファースト)　(ミドル)の順

※論文で新姓・旧姓を記載している場合はその通りに記載

↓半角スペース

４．公表　　Gene Therapy__5巻3号__2027年2月掲載予定__8枚__IF: 5.900

論文目録と一致させる　数字は半角　毎年6月に発表される前年度分のｲﾝﾊﾟｸﾄﾌｧｸﾀｰの数値。小数点以下3桁

５．指導教授　　○○○○原則、指導教授氏名(教授または代理教授不在の場合は、准教授または特命教授氏名)氏名の姓と名の間は詰める　（姓または名が１文字の場合のみ、姓と名の間に全角スペース　例：○○　○、○　○○○など）

６．審査委員　（主）○○○○__○○○○__○○○○

教授氏名と教授氏名の間は全角スペース

氏名の姓と名の書き方は5.と同じです

７．備考　　２０２３年__４月__１日入学　※数字は全角、1桁の場合は全角スペース

２０２７年__３月２５日修了見込　満期退学の場合は３１日満期退学とする

（休学期間：なし）

※この様式は文書全体をカーソルで選択して、ホームタブのフォントグループ右下のダイアログボックス起動ツールの矢印をクリックしてダイアログボックスを開き、以下の設定で作成されているため、完成版も下記設定で作成し、且つ、イタリック等に留意した、正しい内容で記載されたものを提出すること

【フォントタブ】日本語用のフォント：MS明朝、英数字用のフォント：MSP明朝

スタイル：標準、サイズ10.5

【詳細設定タブ】倍率：100%、文字間隔：広く、間隔：1Pt、位置：標準

別紙６

博士論文のインターネット公表確認書

※学位申請日　　2026 年9月7日

名古屋大学大学院　医学系研究科長　　殿　　（学位申請書類データファイル提出日（西暦）の年月日）

学位の区分	課程	研究科・専攻	医学系研究科・総合医学専攻
学位授与予定日	2027年 3月25日	ふりがな 氏　　名	つるまい　はなこ 鶴舞　花子

☐【全文の公表が可能】

提出した博士論文（全文）について，公表することに問題はありません。

※全文の公表にあたり，出版社等から，例えば論文の体裁を変更する等の条件の指定がある場合は，その内容が分かる書類を併せて提出してください。

☐【全文の公表の保留を希望】　※ 保留期間中は要約を公表

提出した博士論文（全文）について，下記事由のため，インターネット公表の保留を希望し，保留期間中は要約を公表します。なお，下記事由の消滅等に伴う所定の届出書（様式：別紙７）については，自動的に公表となる場合を除き必ず提出いたします。

項　目	事　　由	様式:**別紙７**の提出時期
☐図書出版	☐出版済み。出版社の著作権ポリシーを確認した結果，(　　年　月　日)まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	☐出版予定(　　年　月予定)で，出版社の著作権ポリシーを確認した結果，(出版後・　　年　月　日)まで公表することができない。	公表可能日（直後）
	☐出版予定(平成　　年　月予定)で，出版社の著作権ポリシーを確認することができない。	出版予定日又は出版日（直後）
☐学術ジャーナル等への掲載	☐掲載済み。出版社等の著作権ポリシーを確認した結果，(　　年　月　日)まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	☐掲載予定(　　年　月予定)で，出版社等の著作権ポリシーを確認した結果，(掲載後・　　年　月　日)まで公表することができない。	公表可能日（直後）
	☐掲載予定(　　年　月予定)で，出版社等の著作権ポリシーを確認することができない。	掲載予定日又は掲載日（直後）
☐特許・実用新案出願	☐特許出願予定又は審査中（出願公開前）　出願（予定）：　　年　月	出願公開日（直後）
	☐実用新案出願予定又は審査中　　出願（予定）：　　年　月	登録日（直後）
☐その他	（具体的な事由を記載）	事由の消滅日

☑【要約の公表を希望】（全文の公表ができない場合）

提出した博士論文（全文）について，下記事由のため，インターネット公表はできませんので，要約での公表を希望します。

（具体的な事由を記載してください）出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、アクセプト原稿であれば出版の6ヵ月後に公表可能であるが、最終出版版である論文の全文公表は出来ない。本学位論文は最終出版版の論文であるため公表不可である。

（記入例）・図書出版や学術ジャーナル等への掲載において，出版社等の著作権ポリシーを確認した結果，全文での公表ができない。(出版社等の著作権ポリシーを明記した書類の添付が必要)

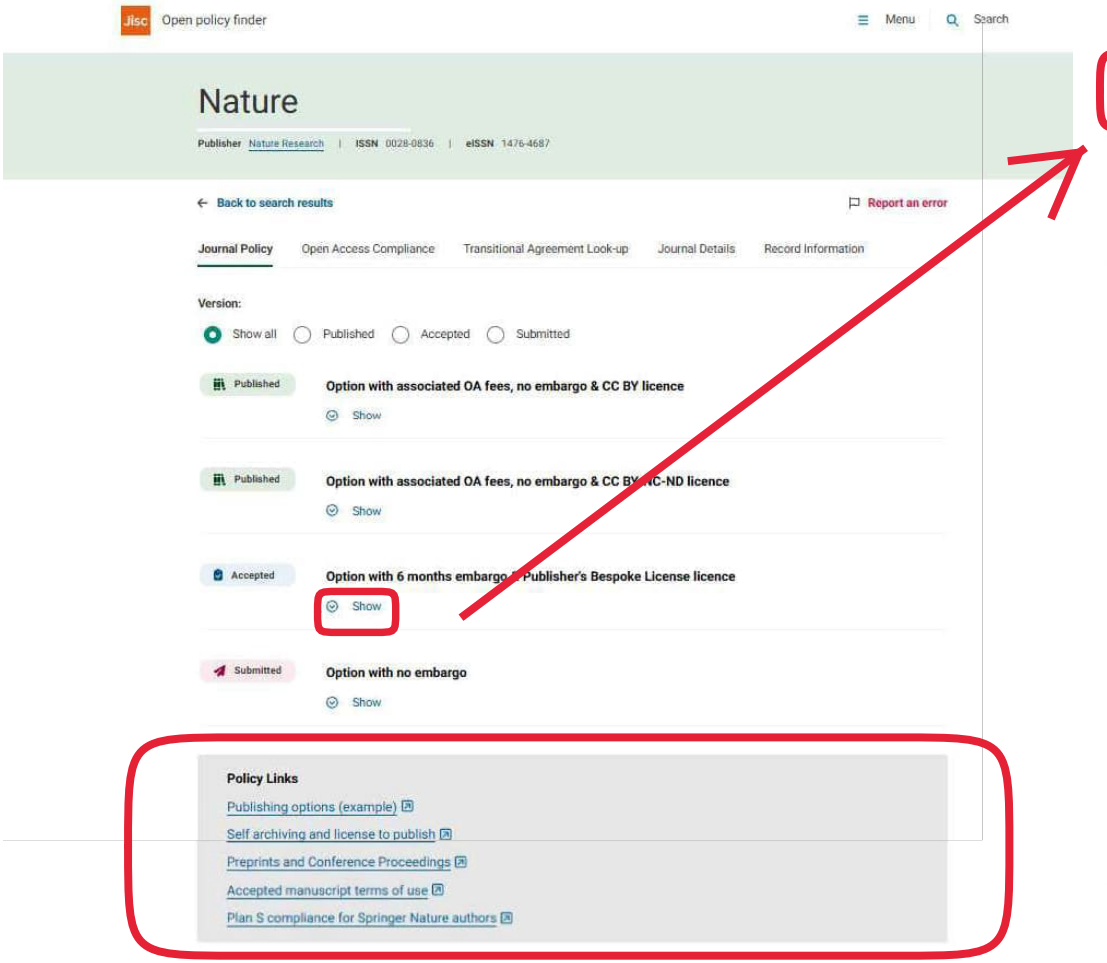
・博士論文が立体形状による表現等を含むためインターネットでの公表ができない。

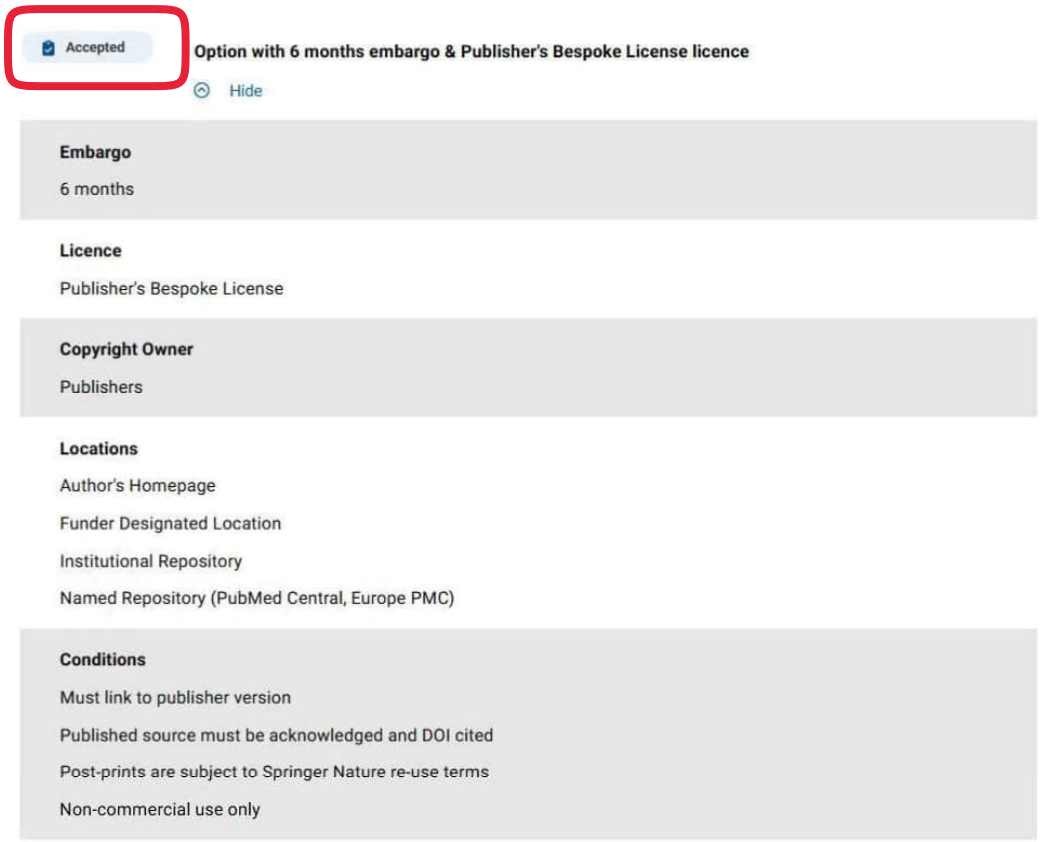
・秘匿すべき情報を含む又は公表することで重大な支障をきたす恐れがあるため。

※作成にあたっては、裏面の「作成の際の注意事項」を参照すること。

Open policy finder

こちらのサイトで、journalの著作権を確認することが可能ですが、正式にjournalが出しているものではないため、こちらで検索した結果を裏付資料としてご提出いただくことは出来ません。journalの著作権の方向性を確認する際の参考にして下さい。





Editorial policies

Acknowledgements

Act with integrity

Appeals & Complaints

Artificial Intelligence (AI)

Authorship

Clinical Research

Collections, Guest Edited Collections, and Special Issues

Communicate with Respect

Competing interests

Confidentiality

Corrections, Retractions and Matters Arising

Funding Statements

Image integrity and standards

Peer Review

Plagiarism and duplicate publication

Preprints & Conference Proceedings

Press and embargo policies

Reporting standards and availability of data, materials, code and protocols

Research Ethics

Self archiving and license to publish

Self archiving and license to publish

Publishing licences and compliance with open access mandates.

On this page

- Nature Portfolio author licence policy
- Creative commons licences
- Self-archiving policy
- Springer Nature terms for use of archived author accepted manuscripts of subscription articles

Nature Portfolio author licence policy

This policy applies to all journals published by Nature Portfolio, including Nature and the journals with "Nature" in their titles. Nature Portfolio's policies are compatible with the vast majority of funders' open access and self-archiving policies.

Nature Portfolio does not require authors of original (primary) research papers to assign the copyright of their published contributions. Authors grant Nature Portfolio an exclusive licence to publish, in return for which they can reuse their papers in their future printed work without first requiring permission from the publisher of the journal.

For non-primary articles (including articles such as Reviews, Perspectives, Comments, News & Views), copyright is retained by Springer Nature. This includes, but is not restricted to,

commissioned content and all content published in the *Nature Reviews* journals.

General information about licencing policies and re-use can be found at the reprint and permission website.

Top of page ⤴

Creative commons licences

Nature Portfolio open access and hybrid journals

Open access articles in {{{journal name}}} are published under a CC BY-NC-ND (Creative Commons Attribution Non-Commercial No Derivatives 4.0 International licence) or CC BY (Creative Commons Attribution 4.0 International licence) licence.

- CC BY-NC-ND: The article can be shared for non-commercial purposes as long as the authors are credited. Permission is needed for commercial re-use or sharing adapted and derivative versions.
- CC BY: The article may be shared and adapted for any purpose, including commercially, so long as the authors are credited. To learn more about OA licences visit our licensing and copyright guide.

To learn more about OA licences visit our licensing and copyright guide.

All Springer Nature journals with an open access option offer intergovernmental organisation (IGO) versions of Creative Commons licences on request, where required by the author's employer.

Authors are advised to check their funder's open access requirements, to ensure compliance. For more information about open access licensing, please see "OA licensing and copyright" on our journal open access policies page on SpringerNature.com.

Top of page ⤴

Self-archiving policy

Nature Portfolio's policies are compatible with the vast majority of funders' open access and self-archiving mandates.

Preprints

Nature Portfolio journals encourage posting of preprints of primary research manuscripts on preprint servers of the authors' choice, authors' or institutional websites, and open communications between researchers whether on community preprint servers or preprint commenting platforms.

Preprints are defined as an author's version of a research manuscript prior to formal peer review at a journal, which is deposited on a public server (as described in Preprints for the life sciences. *Science* **352**, 899–901; 2016); preprints may be posted at any time during the peer review process. Posting of preprints is not considered prior publication and will not jeopardize consideration at Nature Portfolio journals. Manuscripts posted on preprint servers will not be taken into account when determining the advance provided by a study under consideration at a Nature Portfolio journal.

Springer Nature has partnered with Research Square (Springer Nature has a majority interest in Research Square) to provide *In Review*, a journal-integrated solution for preprint sharing, supporting authors across all the communities we serve to share

their research early. Authors submitting to some Springer Nature journals are also able to publicly share information regarding their peer review through *In Review*. More information about application of *In Review* to Nature journals can be found here; general information about *In Review* at Springer Nature and the Research Square preprint platform can be found here and here .

Our policy on posting, licensing, citation of preprints and communications with the media about preprints of primary research manuscripts is summarized below.

Authors should disclose details of preprint posting, including DOI and licensing terms, upon submission of the manuscript or at any other point during consideration at a Nature Portfolio journal. Once the preprint is published, it is the author's responsibility to ensure that the preprint record is updated with a publication reference, including the DOI and a URL link to the published version of the article on the journal website.

Authors may choose any license of their choice for the preprint including Creative Commons licenses. The type of CC-license chosen will affect how the preprint may be shared and reused. More information to help guide licensing choices can be found in these resource documents developed by an ASAPbio licensing taskforce.

Preprints may be cited in the reference list of articles under consideration at Nature Portfolio journals as shown below:

Babichev, S. A., Ries, J. & Lvovsky, A. I. Quantum scissors: teleportation of single-mode optical states by means of a nonlocal single photon. Preprint at http://arxiv.org/abs/quant-ph/0208066 (2002).

Authors posting preprints are asked to respect our policy on communications with the media. Researchers may respond to requests from the media in response to a preprint or conference presentation by providing explanation or clarification of the work, or information about its context. In these circumstances, media coverage will not hinder editorial handling of the submission. Researchers should be aware however that such coverage may reduce or pre-empt coverage by other media at the time of publication. We also advise that researchers approached by reporters in response to a preprint make it clear that the paper has not yet undergone peer review, that the findings are provisional and that the conclusions may change. More information to help guide responsible communication of research reported in preprints can be found in these resource documents developed by the ASAPbio Preprints in the Public Eye project.

Information about our self-archiving policies and release of Author's Accepted Manuscript may be found here.

Self-archiving of papers published via the subscription route

When an article is accepted for publication in a Nature Portfolio journal via the subscription route, authors are permitted to self-archive the accepted manuscript on their own personal website and/or in their funder or institutional repositories, for public release six months after publication. Authors should cite the publication reference and DOI number on the first page of any deposited version, and provide a link from it to the URL of the published article on the journal's website.

Where journals publish content online ahead of publication in a print issue (known as advanced online publication, or AOP),

authors may make the archived version openly available six months after online publication (AOP).

Please note that the accepted manuscript may not be released under a Creative Commons license. Further information and guidance on self-archiving of articles published via the subscription route can be found on our open access policies for journals page. For Springer Nature's accepted manuscript terms of use, please see: https://www.nature.com/nature-research/editorial-policies/self-archiving-and-license-to-publish#terms-for-use.

Self-archiving of papers published open access

For open access content published under a Creative Commons licence, authors are encouraged to deposit the published version immediately on publication, alongside a link to the URL of the published article on the journal's website.

In all cases, the requirement to link to the journal's website is designed to protect the integrity and authenticity of the scientific record, with the online published version on nature.com clearly identified as the definitive version of record.

Springer Nature terms for use of archived accepted manuscripts of subscription articles

For articles published within the Springer Nature group of companies that have been archived into academic repositories such as institutional repositories, PubMed Central and its mirror sites, where a Springer Nature company holds copyright, or an exclusive license to publish, users may view, print, copy, download and text and data-mine the content, for the purposes of academic research, subject always to the full conditions of use. Any further use is subject to permission from Springer Nature. The conditions

of use are not intended to override, should any national law grant further rights to any user.

Conditions of use

Articles published within the Springer Nature group of companies which are made available through academic repositories remain subject to copyright. The following restrictions on use of such articles apply:

Academic research only

1. Archived content may only be used for academic research. Any content downloaded for text based experiments should be destroyed when the experiment is complete.

Use must not be for Commercial Purposes

2. Archived content may not be used for purposes that are intended for or directed towards commercial advantage or monetary compensation by means of sale, resale, licence, loan, transfer or any other form of commercial exploitation ("Commercial Purposes").

Wholesale re-publishing is prohibited

3. Archived content may not be published verbatim in whole or in part, whether or not this is done for Commercial Purposes, either in print or online.

4. This restriction does not apply to reproducing normal quotations with an appropriate citation. In the case of text-mining, individual words, concepts and quotes up to 100 words per matching sentence may be used, whereas longer paragraphs of text and images cannot (without specific permission from Springer Nature).

Moral rights

5. All use must be fully attributed. Attribution must take the form of a link—using the article DOI—to the published article on the journal's website.

6. All use must ensure that the authors' moral right to the integrity of their work is not compromised.

Third party content

7. Where content in the document is identified as belonging to a third party, it is the obligation of the user to ensure that any use complies with copyright policies of the owner.

Use at own risk

8. Any use of Springer Nature content is at your own risk and Springer Nature accepts no liability arising from such use.

Top of page ⤴

学位論文に関する情報開示　　記入例

※学位申請日　2026年9月7日
（学位申請書類データファイル提出日（西暦）の年月日）

1 専攻名　総合医学専攻

2 分野名　●●●●●学

3 氏名　鶴舞　花子

4 学位論文（全著者名,論文タイトル,雑誌詳細）

（例）Tsurumai H, Gakumu J, Lee M, Nagoya S, Smith C J and Meidai-Aichi S.
Significant association of urokinase plasminogen activator Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population.
Gene Therapy, 2027 Feb; 5(3): 539-545.

Tsurumai H, Gakumu J, Lee M, Nagoya S, Smith C J and Meidai-Aichi S.
Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population.
Gene Therapy, 2027 Feb; 5(3): 539-545.

5 学位論文掲載誌はPubMedのMEDLINEに登録されていますか？（PMCのみはNoになります）　Yes
Noの場合、雑誌創刊年はいつですか。コメントがある場合は以下の欄に記述してください。　Year
(注) PubMedのMEDLINEの登録有無はhttps://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog?term=currentlyindexed
雑誌創刊年はhttp://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journalsで検索できます。

6 学位論文掲載誌はWeb of ScienceのSCIEに登録されていますか？（ESCIはNoになります）　Yes
Yesの場合、最新のインパクトファクターはいくつですか。　IF　5.9
Noの場合、雑誌創刊年はいつですか。コメントがある場合は以下の欄に記述してください。　Year
(注) Web of ScienceのSCIEに登録された雑誌にはインパクトファクターが付きます。
SCIEの登録有無はhttp://mjl.clarivate.com/cgi-bin/jrnlst/jlresults.cgi?PC=D&Alpha=Aで検索できます。
雑誌創刊年はhttp://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journalsで検索できます。

7 学位申請者は単独の筆頭著者ですか？(equal contributorとなる筆頭著者が居ない)　No
Noの場合（複数の筆頭著者）は、筆頭著者の氏名を明記の上、equal contributorsの貢献を具体的かつ詳細に記述してください。**回答がNoの場合のみ「同意書」**のご提出が必要です。

equal contributor　学務 次郎
この実験のデザインや実験に取り組み、その研究成果の執筆を行った。

8 学位論文のcontributorsの開示欄に、学位申請者が、論文もしくは論文ドラフトを書いたことが明示されていますか？　No
Noの場合、学位申請者が論文執筆にどのような貢献をしたか具体的に記述してください。

学位申請者がこの研究に取り組み、主要なデータを採り、その研究成果をまとめて執筆した。

指導教員（自著）　印